

編集体験を改善する エントリー編集画面 の新機能とUI改善

a - b l o g c m s T r a i n i n g C a m p 2 0 2 4

自己紹介



名前

新井 慎之介 (あらい しんのすけ)

生年月日

1999年12月5日

出身地

広島県安芸郡府中町

好きな食べ物

お好み焼き・牡蠣

所属

有限会社アップルアップル

職種

デザイナー

作るもの

Web と UI

X (旧Twitter)

@MOGESHIN1205

おさらい

エントリー編集画面

ユニットと呼ばれるブロックを使い、文章や画像などのコンテンツを積み重ねてページを構築する画面です。

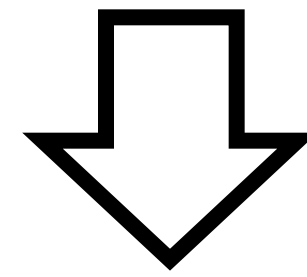
The screenshot displays the 'a-blog CMS' entry editing interface. On the left is a sidebar menu with categories like '投稿管理' (Post Management), 'サイト管理' (Site Management), and 'カスタマイズ管理' (Customization Management). The main area shows a multi-block layout with five blocks:

- Block 1:** An image block with a 'Prototyping' graphic. It includes fields for ID (1014), size (width 1/1 (920px)), caption, alt text, link URL, and options for image link and main image.
- Block 2:** A text block starting with 'はじめに' (Introduction). It has a '見出し大' (Heading Large) dropdown and an 'id' field set to 1. Formatting options include link, bold, italic, underline, and code.
- Block 3:** A text block with the text 'こんにちは！デザイナーの新井です。いきなりですが、Figmaのプロトタイプ機能は使われていますか？' (Hello! I'm Shinnai, a designer. By the way, are you using Figma's prototyping feature?). It has a '本文' (Body) dropdown and the same formatting options.
- Block 4:** A text block with the text 'applepleでは、a-blog CMSを使用したWebサイト制作を行っています。近年、デザインツールの中でもFigmaが人気を集めはじめています。弊社のデザイナーもFigmaを使ってデザイン制作を進めています。' (At appleple, we are creating web sites using a-blog CMS. In recent years, Figma has become popular among design tools. Our designers are also using Figma to advance design production.). It has a '本文' dropdown and the same formatting options.
- Block 5:** A text block with the text '今回は、弊社がWeb制作案件で使っているFigmaのプロトタイプ機能に焦点を当て、その操作方法や使い方を紹介したいと思います。プロトタイプ機能を使うことでより実際と近いデザインを再現し、確認することが可能になります。デザイナーやディレクターは様々な用途で使うことができるのではないかと思いますので、参考になれば嬉しいです。' (This time, we will focus on the prototyping feature of Figma that we use in our web production cases, and introduce its operation method and usage. By using the prototyping feature, it will be possible to reproduce a design closer to the actual one and confirm it. Designers and directors can use it for various purposes, so I think it will be a useful reference for you.). It has a '本文' dropdown and the same formatting options.

At the bottom of the interface, there are fields for 'バージョン名' (Version Name) and 'そのまま' (As is), followed by a blue '保存' (Save) button.

開発の背景

「ユニット」と「ユニットグループ機能」の操作性



より直感的な編集体験を提供する

お客様のフィードバックを基に
課題解決を目指します。

3つのアップデート

1 グループユニットの導入

従来のユニットグループの課題を解決する、新たなユニットとして導入されます。

2 ブロックエディタユニットの導入

従来の編集体験の課題を解決し、既存のテキストユニットに代わる新たなユニットとして導入されます。

3 新規ユニットの導入に伴いUI改善

新旧ユニットを統合するため、共通部分のUIにも一部、改良を加えました。

1 グループユニットの導入

従来のユニットグループの課題を解決する、新たなユニットとして導入されます。

2 ブロックエディタユニットの導入

従来の編集体験の課題を解決し、既存のテキストユニットに代わる新たなユニットとして導入されます。

3 新規ユニットの導入に伴いUI改善

新旧ユニットを統合するため、共通部分のUIにも一部、改良を加えました。

ユニットグループ機能の課題

設定したユニットグループの適応範囲がわかりにくい…



CSSが詳しくない方 はレイアウト変更の 設定が難しい…



グループユニットの3つの特徴

入れ子構造の設定が
可能なため、複雑な
レイアウトも簡単に
操作できます。

The screenshot displays a vertical stack of design tool components. At the top, a dark header bar contains the text '02 : グループ : 2カラム' and navigation icons. Below it, a grey header bar shows '03 : グループ : 背景色'. The main content area consists of three text blocks:

- 04 : テキスト**: A white text box with the placeholder text '見出しが入ります。'. Below it is a toolbar with a dropdown menu set to '見出し2', buttons for 'リンク', '強調', and '重要', and a text input field containing 'abc'.
- 05 : テキスト**: A white text box containing multiple lines of placeholder text '本文が入ります.'. Below it is a toolbar with a dropdown menu set to '本文', buttons for 'リンク', '強調', and '重要', and a text input field containing 'abc'.
- 06 : テキスト**: A white text box with the text 'ボタンをクリック'. Below it is a toolbar with a dropdown menu set to 'ボタン', buttons for 'リンク', '強調', and '重要', and a text input field containing 'abc'.

At the bottom of the visible area, there are two dark header bars: a grey one labeled 'グループ : 背景色' and a dark one labeled 'グループ : 2カラム'. The bottom-most header bar shows '07 : テキスト' and navigation icons.

デザインイメージ

グループユニットのまとめ

設定ミスやレイアウト調整の難しさを解決
かんたんな操作とわかりやすい適用範囲で
編集体験を向上させます。

1 グループユニットの導入

従来のユニットグループの課題を解決する、新たなユニットとして導入されます。

2 ブロックエディタユニットの導入

従来の編集体験の課題を解決し、既存のテキストユニットに代わる新たなユニットとして導入されます。

3 新規ユニットの導入に伴いUI改善

新旧ユニットを統合するため、共通部分のUIにも一部、改良を加えました。

ブロックエディタ ユニット

従来の編集体験の課題を解決し、
テキストユニットに代わるユニッ
トとして新たに導入します。

What Is the Prototyping Feature?

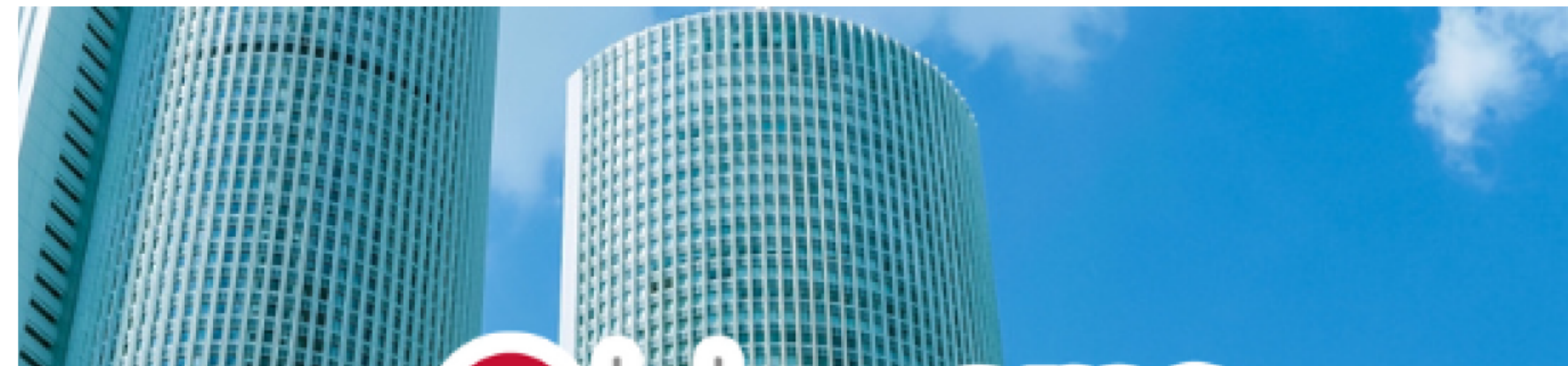
The prototyping feature in Figma allows you to preview your designs, create flows for gathering feedback, and conduct user testing. This feature is primarily used for the following purposes:

Text | ^ | B | I | [| > | [| Custom | :

+ By using the prototyping feature, you can simulate screen transitions and add bas

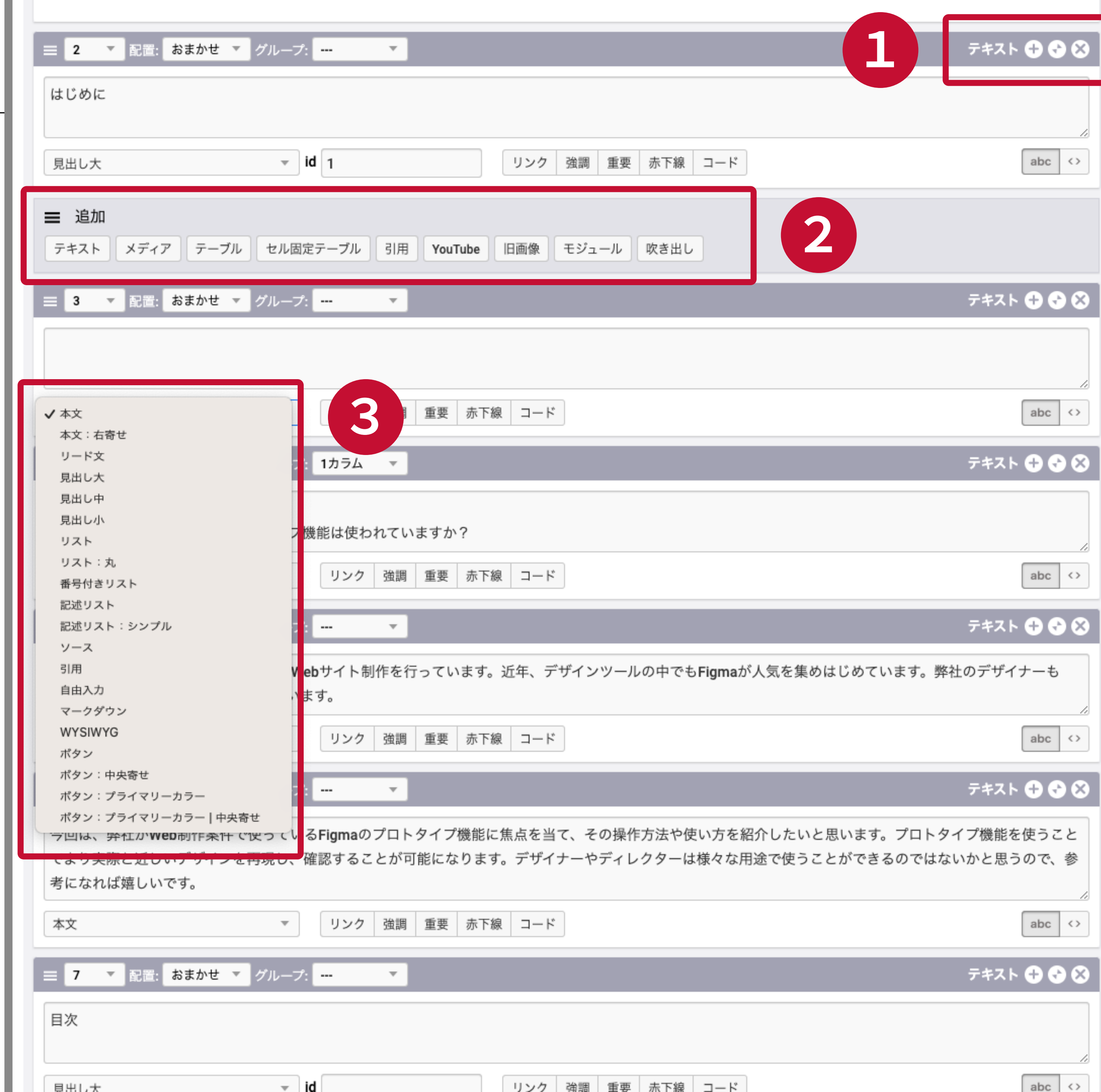
- Sharing progress and outcomes of designs or ideas.
- Collecting feedback on designs.
 - Conducting simple usability tests.
 - Presenting designs to stakeholders.
 - Sharing progress and outcomes of designs or ideas.

How to Use the Prototyping Feature



ユニットの課題

ユニットの新規追加 やClass属性の選択 操作回数が多い…



書式の見た目が区別
されていないため、
最終的な仕上がりを
イメージしづらい…

≡ 9 ▼ 配置: おまかせ ▼ グループ: --- ▼

プロトタイプ機能とは

見出しサイズにならない

見出し大 ▼

id 2

リンク

強調

重要

赤下線

コード

≡ 10 ▼ 配置: おまかせ ▼ グループ: --- ▼

Figmaのプロトタイプ機能を使用すると、作成したデザインをプレビューで確認し、フィードバックを収集したりユーザーテストを行ったりすることができます。この機能は主に以下の用途で使われます。

本文 ▼

リンク

強調

重要

赤下線

コード

≡ 11 ▼ 配置: おまかせ ▼ グループ: --- ▼

デザインやアイデアの進行状況や成果を共有する。
デザインに関するフィードバックを集める。
簡単なユーザビリティテストを実施する。
ステークホルダーに対してデザインのプレゼンテーションを行う。

リストスタイルにならない

リスト:丸 ▼

リンク

強調

重要

赤下線

コード

≡ 12 ▼ 配置: おまかせ ▼ グループ: --- ▼

このプロトタイプ機能を使うことで、デザインした画面を実際の動きと同じように遷移させたり、簡単なアニメーションや動きを加えたりすることができます。クライアントや社内でデザインを共有する際には、静止画だけのデザインよりもイメージしやすく、実践的なフィードバックを得ることが可能です。

本文 ▼

リンク

強調

重要

赤下線

コード

≡ 13 ▼ 配置: おまかせ ▼ グループ: --- ▼

プロトタイプ機能の使い方

見出し大 ▼

id 3

リンク

強調

重要

赤下線

コード

ブロックエディタユニットの3つの特徴

文章を直接編集でき
最終的な仕上がりが
イメージしやすくな
ります。

Figmaのプロトタイプ機能とは？

Figmaのプロトタイプ機能を使用すると、作成したデザインをプレビューで確認
クを受けたりユーザーテストを行ったりするためのフローを作成できます。この
用途に使われます。



+ :: このプロトタイプ機能を使うことで、デザインした画面を実際の動きと同じよう
簡単なアニメーションや動きを加えたりすることができます。

- デザインやアイデアの進行状況や成果を共有する。
- デザインに関するフィードバックを集める。
 - 簡単なユーザビリティテストを実施する。
 - ステークホルダーに対してデザインのプレゼンテーションを行う。

プロトタイプ機能の使い方をレクチャーします！

Figmaのプロトタイプ機能を使用すると、作成したデザインをプレビューで確認
クを受けたりユーザーテストを行ったりするためのフローを作成できます。この
用途に使われます。

ユニット内に要素を
複数配置でき並び替
えも簡単に操作でき
ます。

このプロトタイプ機能を使うことで、デザインした画面を実際の動きと同じように簡単なアニメーションや動きを加えたりすることができます。

プロトタイプ機能の使い方

+ ☰ | 文章を入力するか、「/」でブロックを挿入する。

フォーマット

T テキスト

¶ 見出し2

¶ 見出し3

¶ 見出し4

¶ 見出し5

☰ リスト

☰ 番号付きリスト

☞ 引用

<> コードブロック

メディア

🖼️ メディア

の進行状況や成果を共有する。

フィードバックを集める。

βリティテストを実施する。

リーダーに対してデザインのプレゼンテーションを行う。

レビューで確認し、フィードバックを受けたりユーザーテスト
できます。この機能は主に以下の用途で使われます。

id や class属性の
設定ができるため、
柔軟なデザイン調整
に対応できます。

このプロトタイプ機能を使うことで、デザインした画面を実際の動きと同じように遷移や簡単なアニメーションや動きを加えたりすることができます。

プロトタイプ機能の使い方

Figmaのプロトタイプ機能を使用すると、作成したデザインをプレビューで確認し、クリックを受けたりユーザーテストを行ったりするためのフローを作成できます。この機能は、主に以下のような用途に使われます。



+ ☰ このプロトタイプ機能を使うことで、デザインした画面を実際の動きと同じように遷移や簡単なアニメーションや動きを加えたりすることができます。

- デザインやアイデアの進行状況や成果を共有する。
- デザインに関するフィードバックを集める。
 - 簡単なユーザビリティテストを実施する。
 - ステークホルダーに対してデザインのプレゼンテーションを行う。

プロトタイプ機能の使い方をレクチャーします！

Figmaのプロトタイプ機能を使用すると、作成したデザインをプレビューで確認し、

デザインイメージ

ブロックエディタユニットのまとめ

操作回数の多さや視認性の課題を解決し、
シンプルなUIで**作業の時間短縮**を可能にする
新たなユニットを導入し編集体験を向上
させます。

1 グループユニットの導入

従来のユニットグループの課題を解決する、新たなユニットとして導入されます。

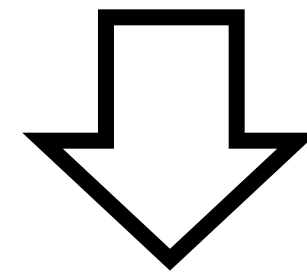
2 ブロックエディタユニットの導入

従来の編集体験の課題を解決し、既存のテキストユニットに代わる新たなユニットとして導入されます。

3 新規ユニットの導入に伴いUI改善

新旧ユニットを統合するため、共通部分のUIにも一部、改良を加えました。

新機能は、従来のユニットと組み合わせて使用

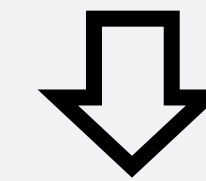


従来のユニットと統合を実現

共通部分のUI改善と機能追加

ユニットのメニュー
を一新し、シンプル
なデザインに変更し
ました。

従来のユニット



新しいユニット



ユニットの左側

ユニットグループ機能
が不要になるため
配置とグループが、
簡略化されます。



ユニットの右側

複製機能により、同じユニットを簡単に再利用でき、作成の手間を削減します。



デザインイメージ

追加機能とUI改善のまとめ

新ユニットに対応しメニューのUIを改善
複製機能の追加で**効率的なコンテンツ作成**
で編集体験を向上させます。

さいごに

フィードバックをお待ちしています！



翌日 11.16 (土)

10:00 - 15:00

@ベースキャンプ名古屋

 blog **cms** Training Camp

フォローアップ勉強会

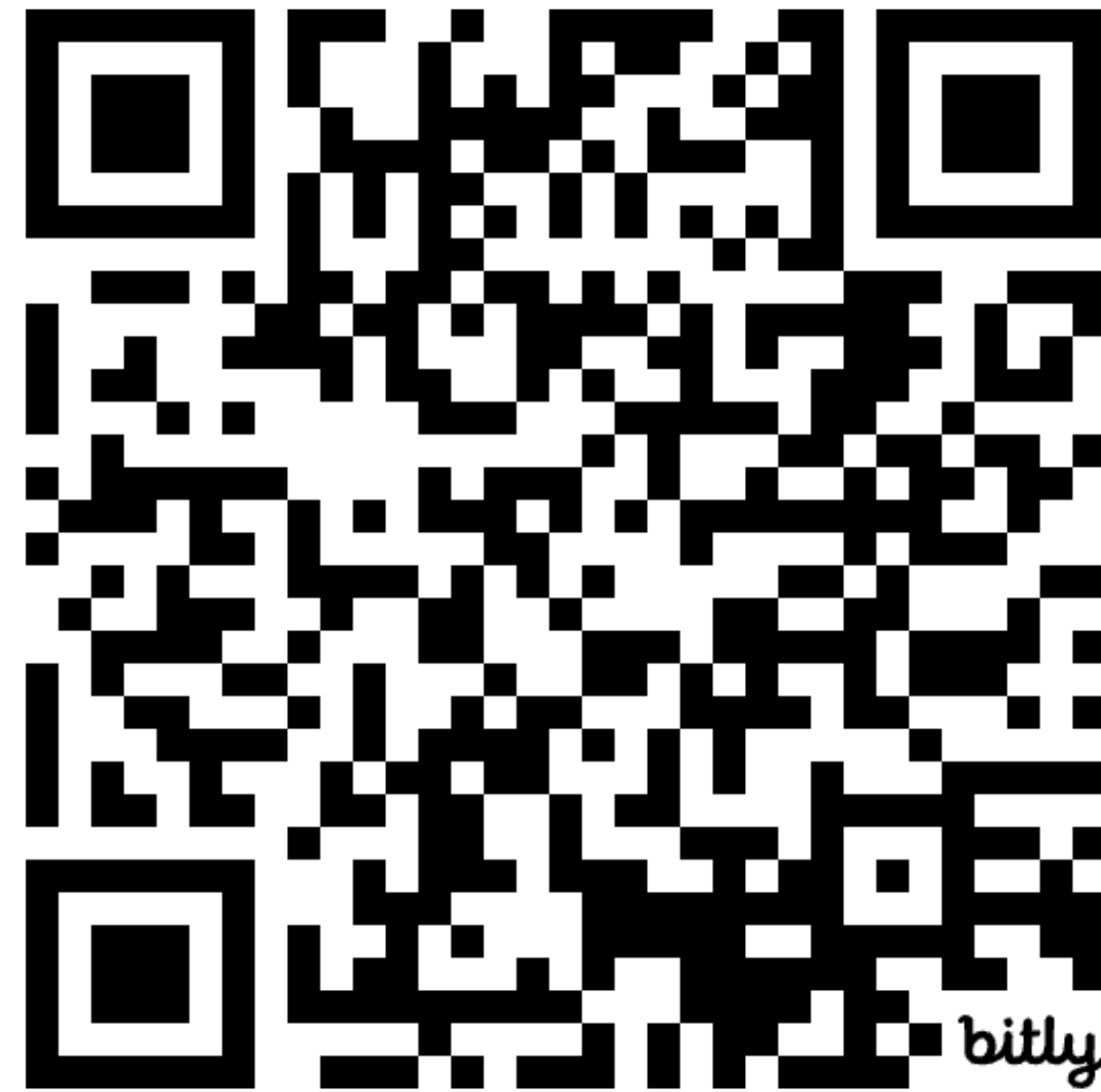


Ver.3.2 beta の
ハンズオン



開発元デザイナーとの
座談会

Figma Design(PC版)



<https://ablogc.ms/figma2024>